



REV.1

(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

対象期間 2012年1月1日～2012年12月31日 ・ 発行日 2013年2月28日



2012年、当社は創立50周年を迎えました



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

| | |
|---|----|
| はじめに..... | 3 |
| 1. 組織の概要 | 3 |
| 2. 対象範囲 | 4 |
| 3. 環境方針 | 4 |
| 4. 実施体制 | 5 |
| 5. 環境目標とその実績 | 6 |
| 6. 環境活動計画 | 9 |
| 6-1. 環境負荷の低減 | 9 |
| 【CO2 排出量の削減】 | 9 |
| ■電力使用量の削減 | 10 |
| ■ガス使用量の削減 | 12 |
| ■ガソリン使用量の削減..... | 13 |
| 【上水使用量の削減】 | 15 |
| 【廃棄物・資源物量の削減】 | 16 |
| 6-2. グリーン購入 | 18 |
| 6-3. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス | 19 |
| 6-4. 社員への環境教育～中長期目標 | 19 |
| 6-5. 社外への働きかけ～中長期目標 | 20 |
| 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 | 21 |
| 8. 代表者による全体評価と見直しの結果 | 21 |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

はじめに

株式会社東興電機製作所は 1963 年に創業し、製造部門（医療機器製造および放射線測定装置製造）と、IT に関する様々なサービスを提供する TOKO DS (IT サービス事業部)から成り立ちます。2008 年新年の朝礼にて、今年は環境問題に社員全員が感心を持ち、会社として何が出来るか考え、具体的に行動していこうという社長の挨拶から当社のエコ活動は始まりました。同年 6 月、取引先での会合で「エコアクション 21」の存在を知り、当社でも取得を目指して実際に動き始め、2009 年 4 月に認証取得し、現在もエコアクション 21 のシステムに基づいた継続的な環境保全活動につとめています。

1. 組織の概要

| 事業所名及び代表者氏名 | | 所在地 | |
|---|--|---|--|
| 株式会社東興電機製作所 代表取締役社長 坂郷治 エコアクション 21 認証・登録番号： 3504 | | [本社（関前工場）] 〒180-0014 東京都武蔵野市関前 4-1-16 [青梅分室] 〒198-0023 東京都青梅市今井 3-4-29 今井ビル 1 階 [三鷹オフィス] 〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-9-5 第一中央ビル 4 階-A | |
| 環境管理責任者及び連絡先 | | 事業の規模 | |
| 川本純子 TEL： 0422-55-5055 (代表) FAX： 0422-55-5051 | E-mail: salesteam.japan@tokods.com URL: http://www.tokods.com/eco/ | 設立年月日： 1963 年 6 月 資本金： 1000 万円 従業員数： 28 名 | 床面積： 368.766 m ² (本社) 66 m ² (青梅分室) 86.1 m ² (三鷹オフィス) |
| 事業内容 | | | |
| ■製造部門 超微細はんだ 超微細加工 | 医療機器製造 精密機器組立・調整・検査 | ■IT サービス部門 WEB サイト評価検証サービス IT 機器検証評価サービス | 業務用ソフトウェア開発・販売 技術翻訳サービス |










(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

2. 対象範囲

認証・登録範囲： 株式会社東興電機製作所 本社(関前工場)、青梅分室ならびに三鷹オフィス

環境活動レポートの対象期間： 2012 年 1 月 1 日～2012 年 12 月 31 日

発行日： 2013 年 2 月 28 日

| ～2011 年 7 月まで | 2011 年 8 月～2012 年 12 月(対象範囲) | | | 2013 年 1 月～ |
|---|--|---|--|---|
| 本社(関前工場)  368.766 m ² | 青梅分室  66 m ² | 本社(関前工場)  368.766 m ² | 青梅分室  66 m ² | 三鷹オフィス  86.1 m ² |
| | | | | 本社(三鷹)  86.1 m ² |
| | | | | 青梅工場  1495.96 m ² |

※三鷹オフィスは 2013 年 1 月より三鷹本社に改称（本店移転）

3. 環境方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、放射線測定装置の製造および IT に関する様々なサービスを提供している環境負荷の低い事業所です。次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら、環境保全活動に取り組んでいきます。

- (1) 製造工程、IT サービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組みます。
- (2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。
- (3) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。
- (4) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。
- (5) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。
- (6) 製品不良率の削減、早期納品、および IT 技術の活用による業務効率化により、環境負荷の低減に取り組みます。

平成 24 年 10 月 24 日 改訂

株式会社東興電機製作所

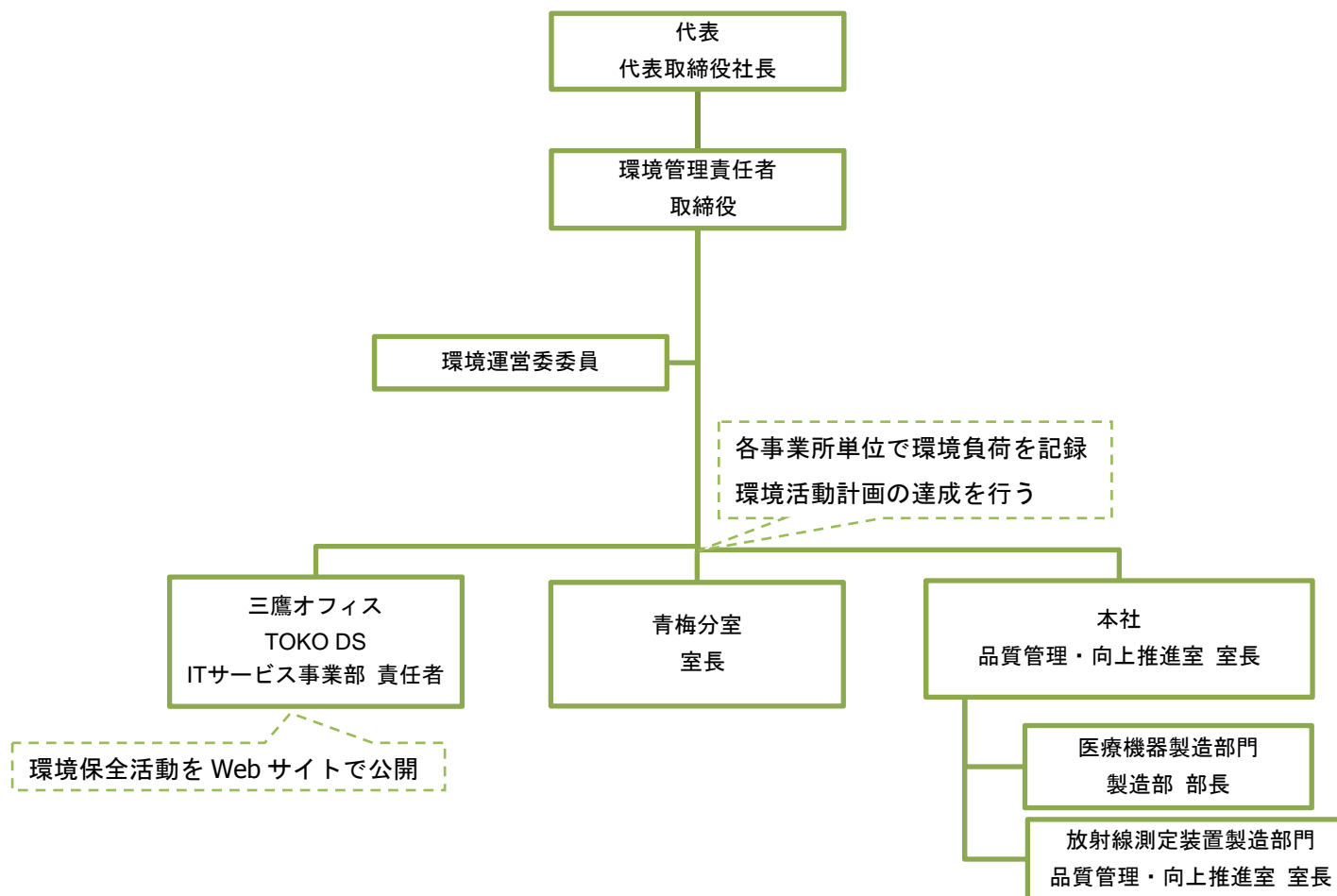
代表取締役社長 坂郷治





(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

4. 実施体制





(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

5. 環境目標とその実績

* 青字：目標数値を達成。赤字：目標数値に未達

| 環境負荷の低減 | | | | | | |
|--|--|---------------------------|---------------|---------------|---------------|------------------------|
| 項目 | 2012 年度環境目標 基準年比削減率(%) | 2012 年度 基準年比 削減率(%) | 2012 年度 実績 | 2011 年度 実績 | 2010 年度 実績 | (基準年) 2009 年度 実績 |
| CO2 排出量 (kg-CO2) | -1% | 19.8% | 30,052 | 31,697 | 26,369 | 24,109 |
| 電力使用量(kWh) | -1% | 2.4% | 40,618 | 53,094 | 59,545 | 39,660 |
| ガス使用量(m3) | -1% | 51.3% | 1,025 | 919 | 831 | 499 |
| ガソリン使用量(ℓ) | | 44.2% | 4,785 | 3,798 | 2,953 | 2,671 |
| 社用車一台あたりのガソリン使用量(ℓ) | 一台あたり -1% | 44.2% | 1,595 | 1,266 | 984 | 890 |
| 上水量(m3) | -1% | -10.9% | 184 | 210 | 205 | 204 |
| 紙の廃棄物量(kg) | -1% | 29.3% | 1,444 | 2,028 | 847 | 1,021 |
| 全一般廃棄物量(kg) | -1% | 8.0% | 1,207 | 1,457 | 927 | 1,110 |
| グリーン購入 | | | | | | |
| ●グリーン購入(エコマーク製品の購入)に努める | <ul style="list-style-type: none"> ・ティッシュペーパー、トイレトペーパーを再生紙 100%の環境負荷の低い製品に切り替えた。 ・社内で使用する用紙を環境負荷の低い、植林樹パルプを使用したものに切り替えた。 | | | | | |
| ●可能な限り、鉛フリーはんだに切り替える | 対応可能なものについてはすべて切り替え済み(顧客側の依頼により、未対応分あり。)2013 年 3 月から完全移行予定。 | | | | | |
| 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス | | | | | | |
| ●顧客への納品や製品(仕掛品や原材料等)の受け渡しの際の配送を可能な限り共同配送便を利用し、効率化する。 | 昨年の震災の影響で納品や原材料の受け渡しが、共同配送便を利用出来ないことも多くなった。その影響で直接顧客のもとへ納品に行くことも増えてしまった。原材料については、発注元よりすべて支給されるため、独自に環境に配慮した原材料を調達するのは現状難しい。 | | | | | |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

社員への環境教育～中長期目標

●社員全員が環境方針を理解し、積極的に環境活動計画を実行するよう教育する

・エコアクション 21 情報コーナーに、環境方針や環境活動計画表を張り、周知した。
 ・環境計画に基づいた呼びかけステッカーを作成、掲示し、日常生活の中で環境計画の実行徹底するようつとめ、毎月担当者が達成状況を記録する仕組みを整備し、実施した。
 ・廃棄物、資源物使用量を定期的に記録する仕組みを整備し実施した。
 ・ペットボトルのキャップを回収し、途上国へのワクチン代などに利用するエコキャップ運動を継続的に実施している。

●社員の環境関連資格取得の支援をする

・具体的に、社員に資格取得の支援の呼びかけは行っていない。どのような資格を取得が可能か調査中。

社外への働きかけ～中長期目標

●環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る

・環境方針やエコアクション 21 への取り組みを始めたことを当社 Web サイトに掲載した。ただ、環境レポートを掲載するだけでなく、環境負荷の低減への取組の紹介を中心に、見やすくわかりやすい Web サイトを目指し構築した。

●Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動への意識啓蒙に努める

・Web を通しての環境コミュニケーション活動をどのように行っていく方法を模索中。

* 2012 年度については、1 月 1 日から 12 月 31 日までの期間とします。

* 2011 年度以前については、当社会計年度に合わせ、各 1 年度は、毎年 7 月 1 日から翌年 6 月 30 日までの期間とします。

* 廃棄物の分別、廃棄方法については、本社、三鷹オフィス、および青梅分室所在地の東京都武蔵野市、青梅市のごみの種別、分別の仕方に従っています。

* 環境負荷の把握・分析の結果、当社は環境負荷が低い事業所であることが明らかとなったため、各削減目標設定値を低く据えています。さらなる CO2 削減、環境負荷の低減に努めます。

* 灯油は 2008 年度にて使用全廃を達成しています。

次年度は、2013 年 1 月の事業所統廃合に伴い、全事業所合算の環境目標と、事業所ごとの環境目標を新たに設定します。



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

■2013 年度環境目標

| 環境負荷の低減 | | | |
|---|--------------------------|--|---|
| | 本社(三鷹)、青梅全社統合 | 本社(三鷹) | 青梅工場 |
| CO2 排出量の削減(kg-CO2) | 基準年(2009 年)排出量実績に対し、1%削減 | 基準年(2012 年)排出量実績に対し、1%削減 ※三鷹オフィス開所が2011年8月のため、環境負荷を通年で計測した2012 年を基準年に設定 | 2013 年 1 月に開所のため、2013 年は環境負荷の把握につとめ、翌2014 年度より 2013 年を基準年とし、環境目標を設定する |
| 購入電力使用量の削減 (kWh) | | | |
| 都市ガス使用量の削減 (m3) | | | |
| ガソリン使用量の削減/社用車一台あたり (L) | | | |
| 水使用量の削減 (m3) | | | |
| 一般廃棄物の削減 (kg) | | | |
| 紙のリサイクル量の削減 (kg) | | | |
| グリーン購入 | | | |
| ●社内備品購入数(アスクル)うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合を増やす | グリーン購入割合目標値 50% | グリーン購入割合目標値 50% | グリーン購入割合目標値 50% |
| ●可能な限り、鉛フリーはんだに切り替える | | 鉛の使用はなし | 100%鉛フリーのハンダに切り替え |
| 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス | | | |
| ●顧客への納品や製品(仕掛品や原材料等)の受け渡しの際の配送を可能な限り共同配送便を利用し、効率化する | | | |
| ●顧客への成果物 PDF などデジタルデータで納品し紙面での印刷は必要最小限に控える | | | |
| 社員への環境教育～中期環境目標 | | 社外への働きかけ～中期環境目標 | |
| ●社員全員が環境方針を理解し、積極的に環境活動計画を実行するよう教育する | | ●環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る | |
| ●社員の環境関連資格取得の支援をする(3～5 年後取得目標) | | ●社外に対して特に Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動への意識啓蒙、情報発信に努める | |



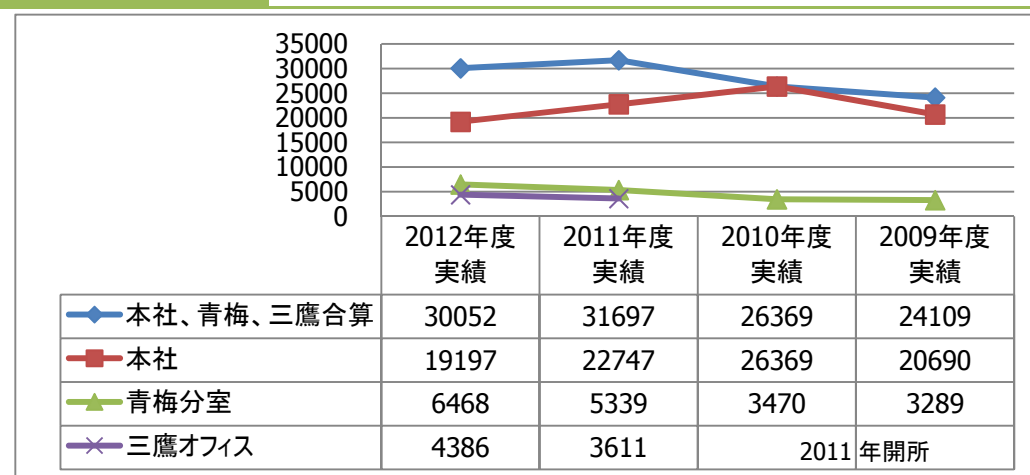
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

6. 環境活動計画とその取組結果

6-1. 環境負荷の低減

【CO2 排出量の削減】

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|---|---|--|
| 基準年(2009 年度)排出量実績に対し 1%削減 | × | 23868 (kg-CO2) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| 取組事項の説明(教育) : 電気、灯油、ガス、ガソリンの使用量削減の活動計画 を取り組むことによって、CO2 の削減を行う。 | ○ | ・朝礼で話すとともに、エコアクションコーナーを利用して、 取組み事項を周知するようにした。 |
| 環境管理責任者 評価 | 前年度に比べると排出量は削減できているが、目標値は達成できなかった。営業活動が活発になり、特にガソリンの使用量が大幅に増えたこと大きな影響を与えていると思われるが、一方で三鷹オフィス開設に伴いネットワーク関係の電力および空調設備の使用量が削減できている。 | |



次年度も引き続き今年度の取組内容を
継続して取り組んでいきます。



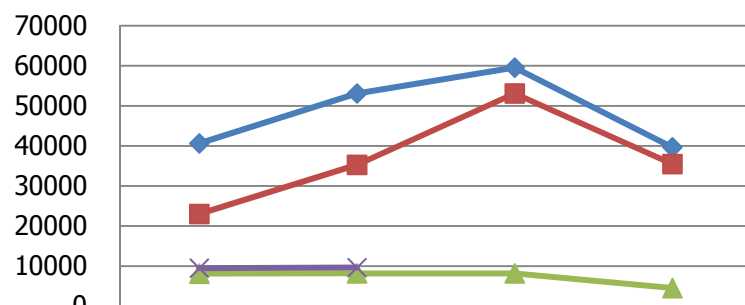
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

■電力使用量の削減

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|--|---|---|
| 基準年(2009年度)排出量実績に対し1%削減 | × | 39263 (kWh) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| <u>不要照明の消灯</u> ・ お昼休みに消灯する。 ・ 不要な電気はこまめに消す | ○ | 社員の意識が高まり、かなりよく実施できていた。 |
| <u>周辺機器の節電</u> ・ OA 機器は使用しない時は電源を切るか省電力モードに設定する ・ 離席するときにはパソコンをスタンバイモードにする ・ 暖房便座は夏期は電源を落とし、使用後は蓋を閉める | ○ | OA 機器を使用しない時に電源を切ることや、省電力モードやスタンバイモードにして席を外すことが、少しずつ行えるようになってきたが、徹底できないときもあるので、周辺機器の節電の意識を高めるようにしていきたい。 |
| <u>室内温度調節の徹底</u> ・ 冷房温度を 28℃±1℃、暖房温度 20℃±1℃に設定し、クールビズ、ウォームビズを実行 ・ 窓に蔓性植物の栽培をし、日光を防ぐ | △ | 夏場、28℃±1℃を保つことがなかなか難しい。新設の三鷹オフィスでは、サーバーの撤去、扇風機での空気の循環、日よけカーテンの導入で対処している。 |
| <u>適切な資源の選択、設定</u> ・ 新しく購入する電球は省エネ効果の高いものを選ぶ ・ 使用場所、用途に適応じた電球や電気器具を選ぶ | - | 現在使用している電球が使えなくなった時点で、順次、省エネ効果の高い電球を購入することを検討する。 |
| 環境管理責任者 評価 | 営業活動が活発になったことで、主に青梅分室での電力使用量が増大し、目標値を達成することが出来なかった。また、三鷹オフィスが開設されたことで、電力使用量は増えたが、三鷹オフィスのファイルサーバーの撤去や、本社の電力使用量の大幅削減により、すべての事業所で前年度よりも電力使用量を削減することができた。節電が一番わかりやすく、実施しやすいエコだと思うので、これからも節電は心がけるようにしたい。 | |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版



| | 2012年度実績 | 2011年度実績 | 2010年度実績 | 2009年度実績 |
|--------------|----------|----------|----------|----------|
| ◆ 本社、青梅、三鷹合算 | 40618 | 53094 | 59545 | 39660 |
| ■ 本社 | 23019 | 35277 | 53094 | 35483 |
| ▲ 青梅分室 | 8125 | 8187 | 8187 | 4531 |
| × 三鷹オフィス | 9474 | 9630 | 2011年開所 | |

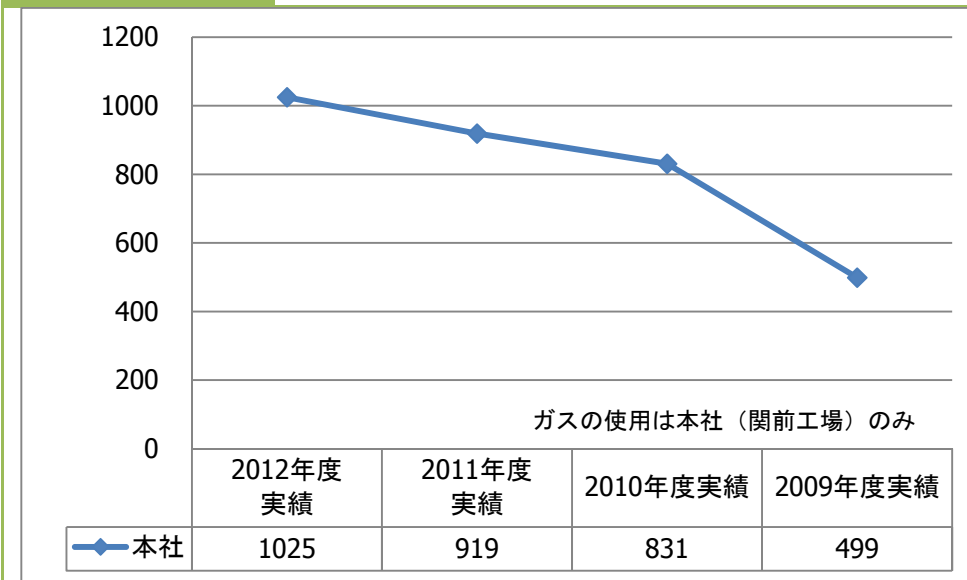
次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。青梅工場の新設に伴い、緑化スペースが確保できたことから、活発な活動に見込まれます。



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

■ガス使用量の削減

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|-------------------------------------|---|--|
| 基準年(2009年度)排出量実績に対し1%削減 | × | 494 (m3) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| 室内温度調節の徹底：ガス暖房は20℃±1℃に設定し、ウォームビズを実行 | ○ | 出社時や寒い日は、温度を上げることもあったが、部屋が暖まるとともに、最低設定温度に調節し、ウォームビズを行った。 |
| 環境管理責任者 評価 | 冬の寒さが厳しかったせいで、暖房のためのガスの使用量があがってしまったと考えられ、目標値を達成することはできなかった。2013年1月事業所移転に伴い、ガス暖房設備を撤廃し、給湯設備としてのみガスを使用するため、大幅なガス使用量の削減が見込まれる。 | |



次年度は三鷹本社ではガスの利用は無く、青梅工場ではガスを暖房設備として利用しないため、使用量の現状把握につとめ、次々年度より改めて環境目標及び環境活動計画を設定します。



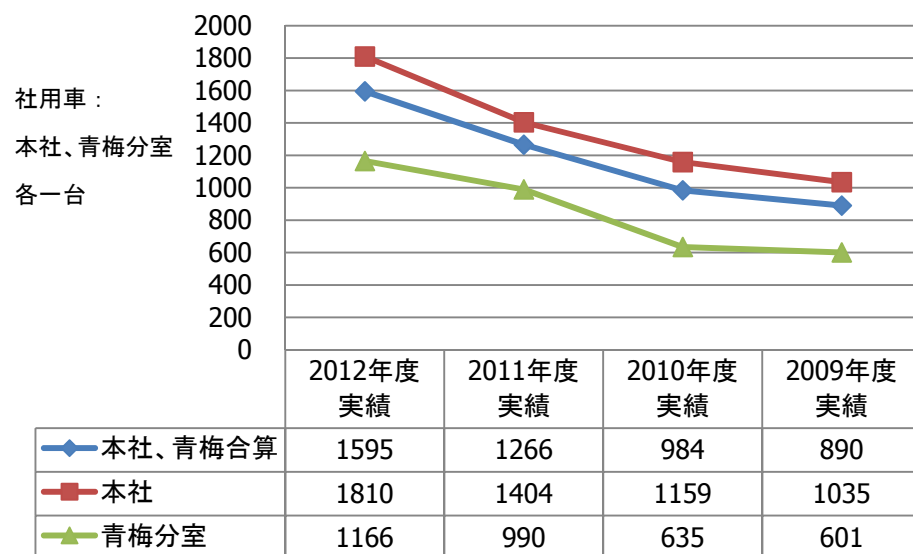
(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

■ガソリン使用量の削減

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|---|--|--|
| 社用車一台あたりのガソリン使用量(ℓ) 基準年(2009 年度)排出量実績に対し 1%削減 | × | 881 (ℓ) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| <u>車輛の点検整備の徹底：</u> ・タイヤの空気圧が適正に保たれているか乗車前に確認する ・使わない荷物を降ろす | ○ | 車両を使用の度に実施。今後も継続して整備点検を行う。 |
| <u>エコドライブの実践</u> ・おだやかな発進、加速をこころがける ・目標に近づいたら早めにアクセルをゆるめる ・慣性走行を活用する ・経済速度で運転する(一般道 40km/h、高速道路 80km/h) ・十分な車間距離をとって速度の変動をなくす ・アクセルを離して減速開始ポイントを早めに ・駐車時のアイドリングはやめる ・クーラーの使用は控える ・暖機運転をしない | △ | 熱中症予防のためにも、夏場は、クーラーの使用を控えるのが難しいが、クーラーの使用以外のエコドライブは実践出来ている。 |
| 環境管理責任者 評価 | 本社、青梅の営業車の使用頻度が増したことで、ガソリン使用量が増え、目標値を達成することはできなかった。但し、営業活動が活発になったことなので、決して悪いとばかりは言えない。エコドライブの推進など、社員への教育を考慮しながら、営業活動を進めていく。また、2013 年 1 月の事業所統廃合に伴い、本社と青梅分室間の移動がなくなるので、ガソリン使用量が削減できるのではないと思われる。 | |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版



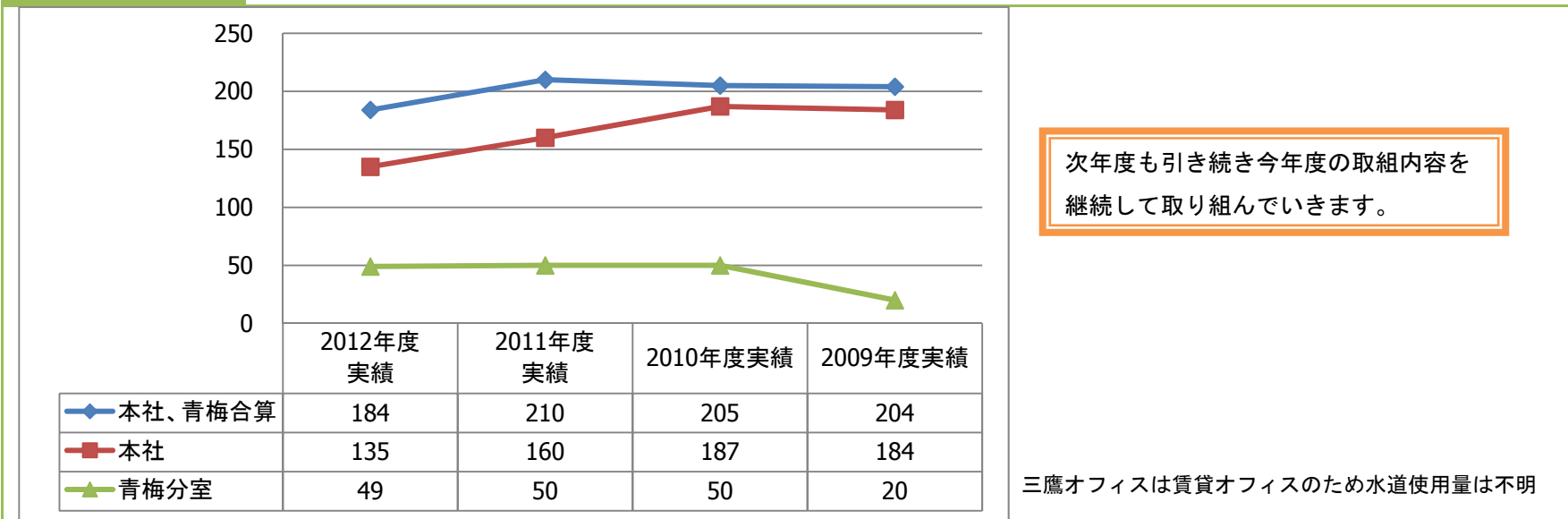
次年度も引き続き今年度の取組内容を
継続して取り組んでいきます。



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

【上水使用量の削減】

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|---|--|----------------------|
| 基準年(2009年度)排出量実績に対し1%削減 | × | 202 (m3) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| 節水の徹底 ・水道使用中、水をだしっぱなしにしない ・水道の水を、こまめにとめる ・水道の水をだしすぎない | ・水道の蛇口を使用後、しっかりしめる ・水道の水を、こまめにとめる ・水漏れのチェックをする | 社員の意識が高まり、よく実施できていた。 |
| 環境管理責任者 評価 青梅分室の社員数が増えたことで、水道使用量が増えたと推測される。但し、本社では水道使用量は減少し、目標値以上の削減を果たしている。今年度より開設された三鷹オフィスは賃貸オフィスのため水道使用量は不明だが、節水は全員が心がけるようにしている。引き続き、社員皆が節水の意識を高めていくようにする。 | ○ | |





(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

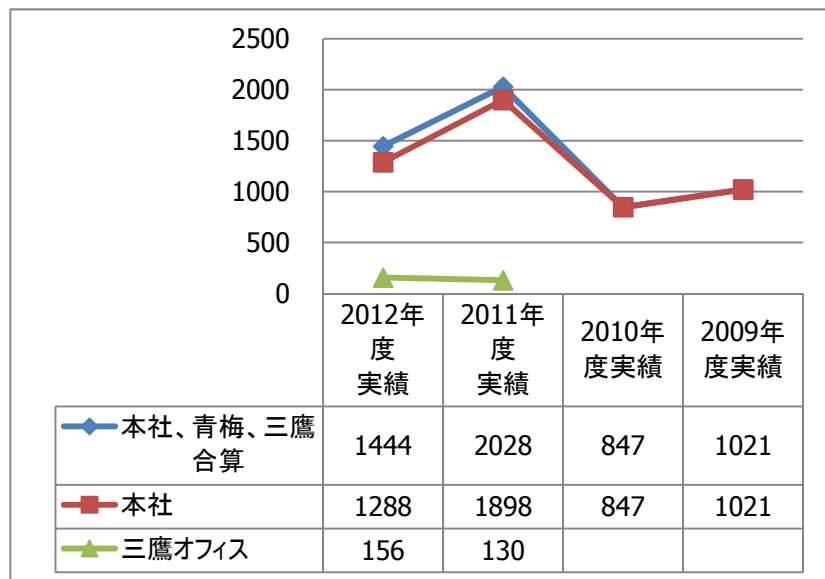
【廃棄物・資源物量の削減】

| 環境目標 | 達成状況 | 実績値 |
|---|---|--|
| 基準年(2009年度)排出量実績に対し1%削減 | × | 紙のリサイクル量:1011(kg) |
| | × | 全一般廃棄物量:1099(kg) |
| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
| <u>分別の徹底</u> ・ゴミの分別を徹底する | ○ | 社員皆、意識を持って分別していた。 |
| <u>3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底</u> ・社内文書は両面印刷、省インクモードで印刷する ・社内文書は裏紙を利用する ・マイ箸持参を心がける ・使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店に持っていく | △ | ・社内文書に裏紙を使用することや、省インクモードでの印刷は、かなり徹底されてきている。 ・注文弁当に割り箸がついているため、マイ箸持参はなかなか実行されない状況である。自宅からのお弁当の場合は、マイ箸を持ってきている。 |
| <u>排出量の把握</u> ・ゴミを捨てるたびにその量を計測、記録する | ○ | 部門責任者または、ゴミ出しをした人が廃棄物量を記録している。 |
| 環境管理責任者 評価 | 製造部門の出荷量が大幅に増えたことにより、紙と段ボールの資源物量が増大した。紙や段ボールは武蔵野市、青梅市の指導に従って資源としてリサイクルに回した。今後も業績が拡大するとういような事象は起こると思われるので、きちんと分別しリサイクルに回していくことを実践していく。 | |

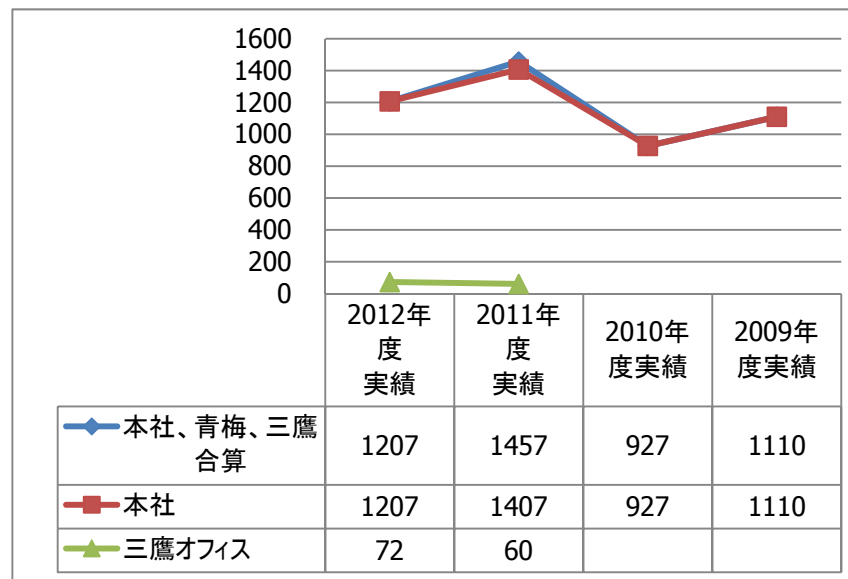


(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

紙のリサイクル量



全一般廃棄物量



青梅分室は、家庭に持ち帰り処分したため記録なし。

次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

6-2. グリーン購入

| 環境活動計画 | 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 | |
|--|---|--|--|-----|
| | 鉛フリーはんだへの切り替え 鉛フリーのはんだに移行する | ○ | ・顧客からの依頼により、すべてを鉛フリーに移行できないものもあるが、それを除けば、ほぼ鉛フリーはんだに移行した。 | |
| | グリーン購入（エコマーク製品の購入）に努める ・新しく作成する名刺には再生紙を利用し、再生パルプ率を明記するようにする ・新しい備品を購入する際に、環境への負荷を考慮した製品を購入する ・社内の用紙は再生紙を使用する | △ | ・ティッシュペーパー、トイレトペーパーを再生紙 100%の環境負荷の低い製品に切り替えた。 ・社内で使用する用紙を環境負荷の低い、植林樹パルプを使用したものに切り替えた。 ・新しく作成した名刺には再生紙(レイナ R 再生紙再生パルプ 70%)を利用しているが、再生パルプ率は明記していない。 ・社内備品購入数（アスクール）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合を今年度に記録を開始した、来年度より目標値を設定する。 | |
| 環境管理責任者 | 評価 | 衛生用品や事務用品など、環境負荷の低いものに替え、コピー用紙は植林木パルプに切り替えた。その他事務用品も再生原料を使用したものを優先的に購入するように心がけている。今年度記録した結果、社内備品購入数（アスクール）のうち 47%のグリーン購入が達成できていることが分かったため、次年度は各事業所 50%のグリーン購入を目標に設定する。 | | |
| ■社内備品購入数（アスクール）うちグリーン購入法適合商品またはエコマーク商品が占める割合 | | | | |
| | 全体購入商品数 | 110 | 52 | 58 |
| | グリーン購入商品数 | 45 | 18 | 27 |
| | 全体分から占める割合 | 41% | 35% | 47% |
| | 来年度目標割合 | 50% | 50% | 50% |

次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。
グリーン購入については、今年度記録した実績に基づき、あらたに環境目標を設定し、次年度の環境活動計画の指標とします。



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

6-3. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービス

次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。

| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
|--|--|---|
| <u>配送方法の効率化：</u> 顧客への納品や製品（仕掛品や原材料等）の受け渡しの際の配送を可能な限り共同配送便を利用し、効率化する | △ | 昨年の震災の影響で納品や原材料の受け渡しが、共同配送便を利用出来ないことも多くなった。 |
| 環境管理責任者 評価 | 昨年の震災の影響で納品や原材料の受け渡しが、共同配送便を利用出来ないことも多くなった影響で直接顧客のもとへ納品に行くことも増えてしまったが、その機会を顧客との関係強化に繋げることも出来たと考えられる。 | |

6-4. 社員への環境教育～中長期目標

次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。

| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
|--|---|---|
| <u>社員全員が環境方針を理解し、積極的に環境活動計画を実行するよう教育する</u> | △ | 環境方針、毎月のエネルギー使用量、CO2 排出量のグラフ、廃棄物量を掲示し、社員が社内での環境活動に関心をもてるようにした。 |
| <u>社員の環境関連資格取得を支援する</u> | × | 今年度は、具体的に、社員に資格取得の支援の呼びかけを行えなかった。今後、取得できる資格を社員が知り、資格取得の意欲を引き出すとともに、資格取得への道筋を示していく必要がある。 |
| 環境管理責任者 評価 | エコ活動は「行ってあたりまえ」という意識が社内に根付いてきたが、エコアクション認証取得後、定期的な環境教育が十分実行できなかった。改善提案と合わせ、定期的に確認する仕組みを構築していきたい。また、緊急時の備えの見直しを行った。備品、ヘルメット、笛を全社員分の常備を開始した。 | |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

6-5. 社外への働きかけ～中長期目標

次年度も引き続き今年度の取組内容を継続して取り組んでいきます。

| 環境活動計画 取組項目 | 取組結果 | 取組内容 |
|--|--|--|
| <p>環境保全活動を当社 Web サイトで公開し、環境保全活動に対する Web コンテンツの充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を自社 Web サイトに掲載する ・環境関連情報を自社 Web サイトに掲載する | ○ | <p>環境方針やエコアクション21への取り組みを始めたことを当社 Web サイトに掲載した。ただ、環境レポートに掲載するだけでなく、環境負荷の低減への取組の紹介を中心に、見やすくわかりやすい Web サイトを目指し構築した。</p> |
| <p>Web を通して環境コミュニケーション活動の場を提供し、環境保全活動への意識啓蒙に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全活動について関連会社、取引会社に公表紹介する ・正式書類以外は、社外から当社への文書に関しても裏紙や両面印刷を薦める | × | <p>Web を通しての環境コミュニケーション活動をどのように行っていく方法を模索中。</p> |
| <p>環境管理責任者 評価</p> | <p>Web サイトでは、エコアクション21について説明し、エコアクション21の活動を知らせたり、環境負荷の低減への取組方法を紹介したりしている。工夫次第で、環境活動に関する Web コンテンツは広げていけるので、興味を引く内容を今後も考え、環境保全活動を社外に向けて発信していく場として、用いていきたいと思う。</p> | |



(株)東興電機製作所 環境活動レポート 2012 年度版

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

■法律

環境基本法

循環型社会形成推進基本法

RoHS 指令

下水道法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

道路運送車両法

消防法

労働安全衛生法電離放射線障害防止規則

■条例

【東京都】

東京都健康と安全を確保する環境に関する条例(東京都環境確保条例等)

【武蔵野市】

武蔵野市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【青梅市】

青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

日常的な環境負荷の低減に対する取り組みは、社員全員に浸透している。今年度は残念なことに目標達成は出来なかったが、その裏には会社の業績が伸びたというプラスの面もあり、これであきらめることなく引き続き環境保全活動に社内全体で取り組んでいきたい。

各事業所の実績をみると前年度より削減出来ている項目も多くあることから、日々の努力は結実していると言える。中でも本社の電力量の大幅削減はクラウドコンピューティングを活用して、サーバーを撤去したことが大きな成果を上げている。こういった当社ならではのエコ活動が他にも無いか、検討する余地があると思う。

また、2013年1月に大幅な事業所の統廃合に伴い、各事業所でどの様に環境活動を実施するのか改めて全社員で考えていきたい。

以上